

イスターカーテン

スリムタイプ(框ドア付) 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
取り付けにあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

———目次———

□取り付け上の注意事項	P 2
□必要工具類の確認	P 2
□基本納まり	P 3
□梱包内容	P 3
□取り付け手順	P 5
1 折戸の吊り込み準備	P 6
2 折戸の吊り込み	P 12
3 吊元ストッパーの調整	P 18
4 框ドアの吊り込み	P 20
5 落としボの取り付け(NR型の場合のみ)	P 23
6 折戸ストッパーの調整(35型・35D型の場合)	P 24
7 ねじ止め禁止ラベルの取り外し	P 25
□取り付け後の点検	P 26

□ 取り付け上の注意事項

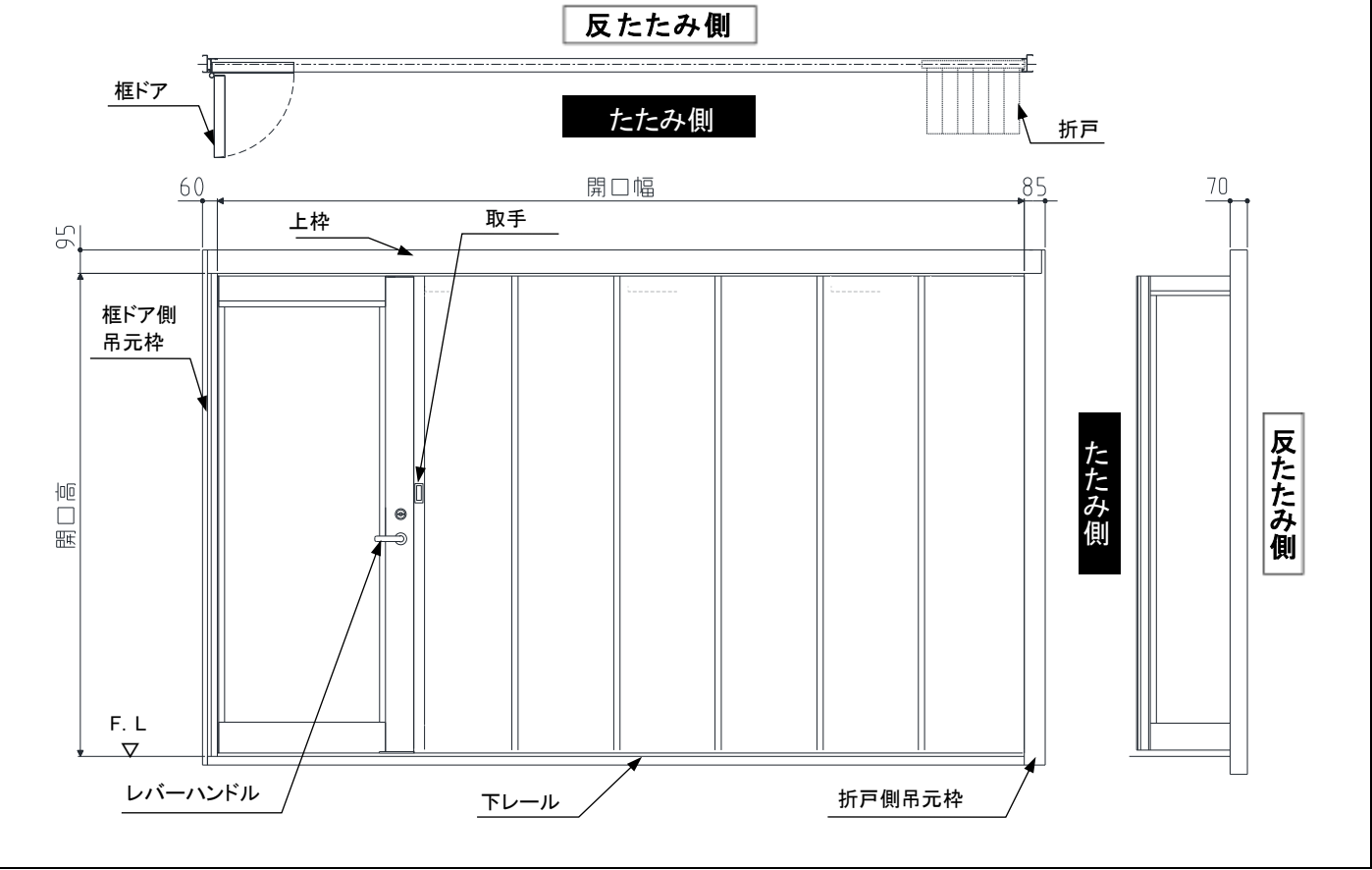
- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取り除いてください。
 - (2) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 折戸、框ドア本体は重いので、二人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ⑦ 取り付け後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

□ 必要工具類の確認

(+)手動ドライバー 2号	鋼製巻尺
カッター	水平器
電動ドライバー	脚立
ニッパー	足場板
ひも	コンクリートドリル $\phi 6$ 、 $\phi 14$ (NR 型の場合のみ)
ヘルメット	墜落制止用器具

□基本納まり

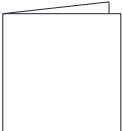
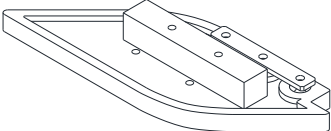
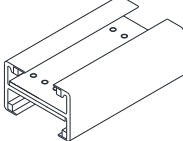
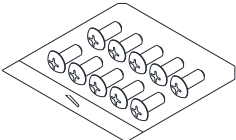
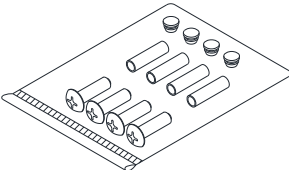
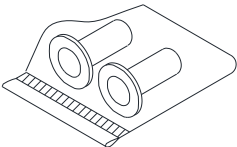
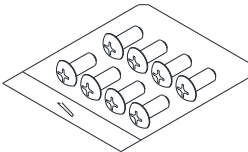
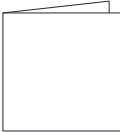
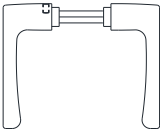
本図は、35型・片引き:右勝手を示します。
NR 型は下レールがありません。
※寸法単位はmmです。



□梱包内容

品名	形状	数量	備考
折戸		必要数	
框ドア		1	
納まりガイド		1本	※NR 型の場合のみ

■ 同梱部品 (付属部品箱入り)

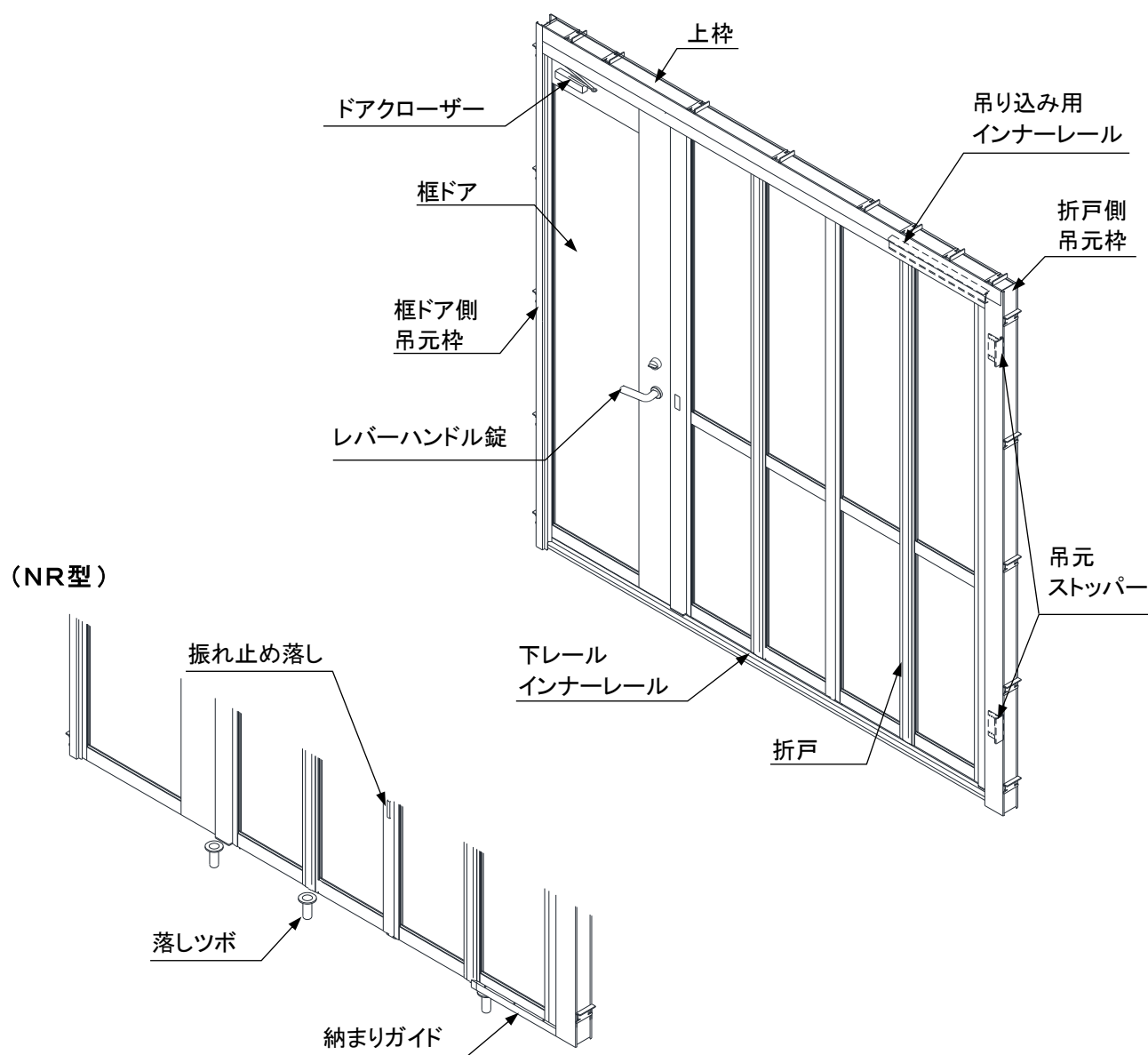
取付説明書			1冊	框ドアに同梱 注意 → 同梱されている取扱説明書は必ず施主様にお渡しください
取扱説明書			1冊	
ガイドプレート			1個	
吊元ストッパー			2個	
吊元ストッパーネジセット			必要数	吊元ストッパー取り付け用 (+)小ねじトラス M4×20 袋詰め (予備を含む)
納まりガイド部品セット			必要数	※NR型の場合のみ (+)丸木ねじ 4. 1×32 カールプラグ 6×25 ホールカバー 袋詰め (予備を含む)
落としボ			必要数	※NR型の場合のみ 袋詰め
扉連結ネジセット			必要数	扉連結取り付け用 (+)タッピンねじトラス 4×25 又は (+)小ねじトラス M4×20
ドアクローザー	本体		1	框ドアに同梱 注意 → 同梱されている取扱説明書は必ず施主様にお渡しください
	取付説明書 兼 取扱説明書		1冊	
レバーハンドル			1セット	框ドアに同梱

□取り付け手順

取り付けは、以下の手順でおこなってください。

- 1 折戸の吊り込み準備
- 2 折戸の吊り込み
- 3 吊元ストッパーの調整
- 4 框ドアの吊り込み
- 5 落としツボの取り付け(NR 型の場合のみ)
- 6 折戸ストッパーの調整(NR 型以外の場合)
- 7 ねじ止め禁止ラベルの取り外し

本図は、35型：左勝手を示します。

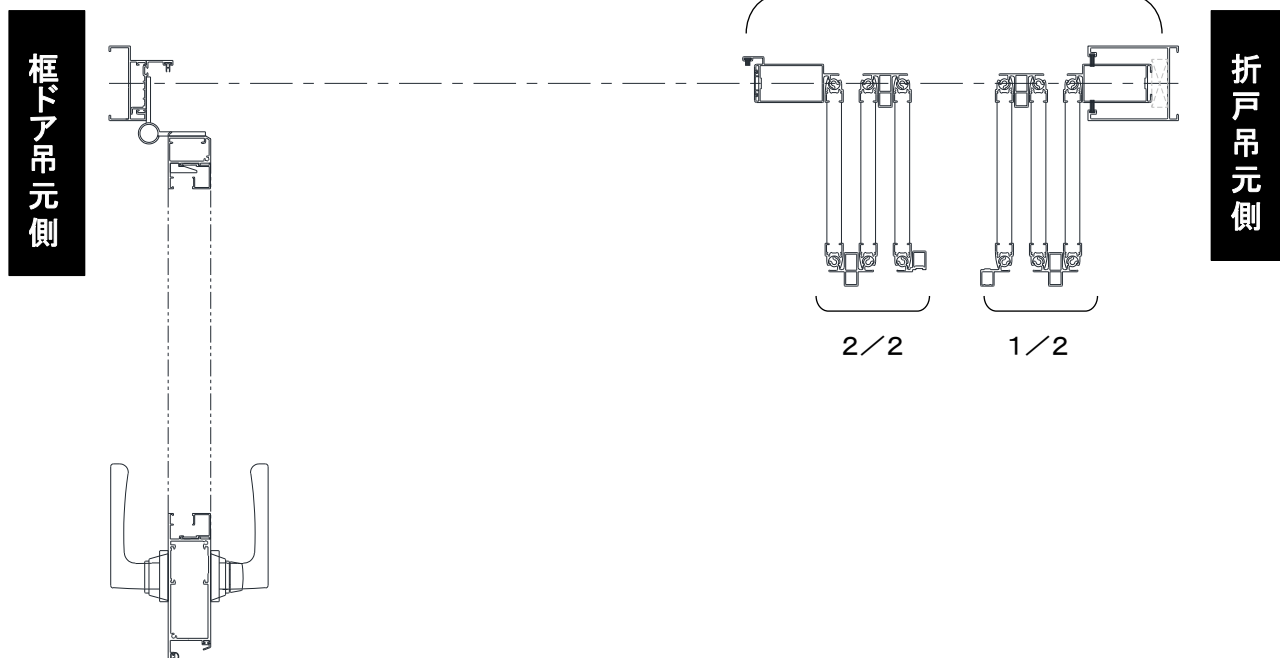
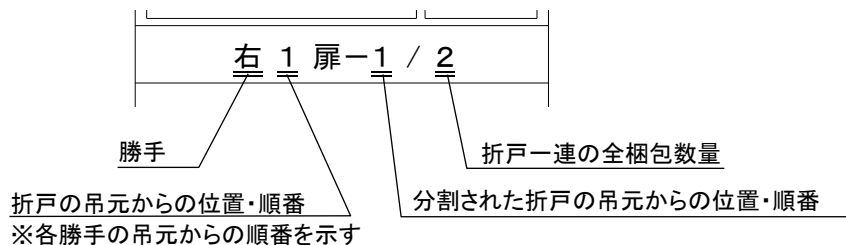
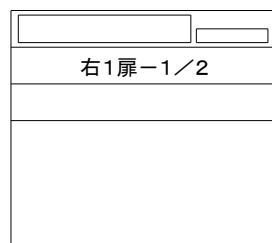


1 折戸の吊り込み準備

■ 折戸の構成

折戸は、仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、折戸の配置を確認してください。
吊元枠に近い折戸から吊り込む仕様になっています。

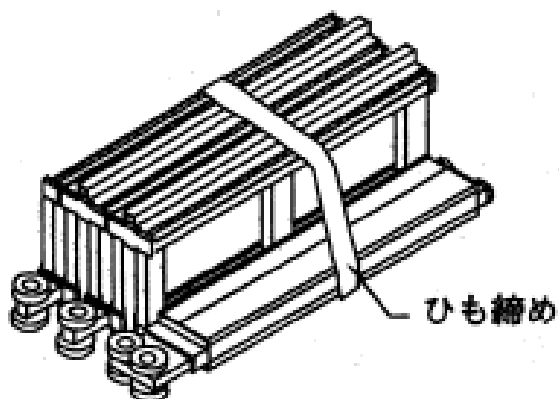
【片引き右勝手1連の場合の表記例】



＜折戸の吊込み準備＞

折戸をたたみ、ひも等で仮締めしてください。

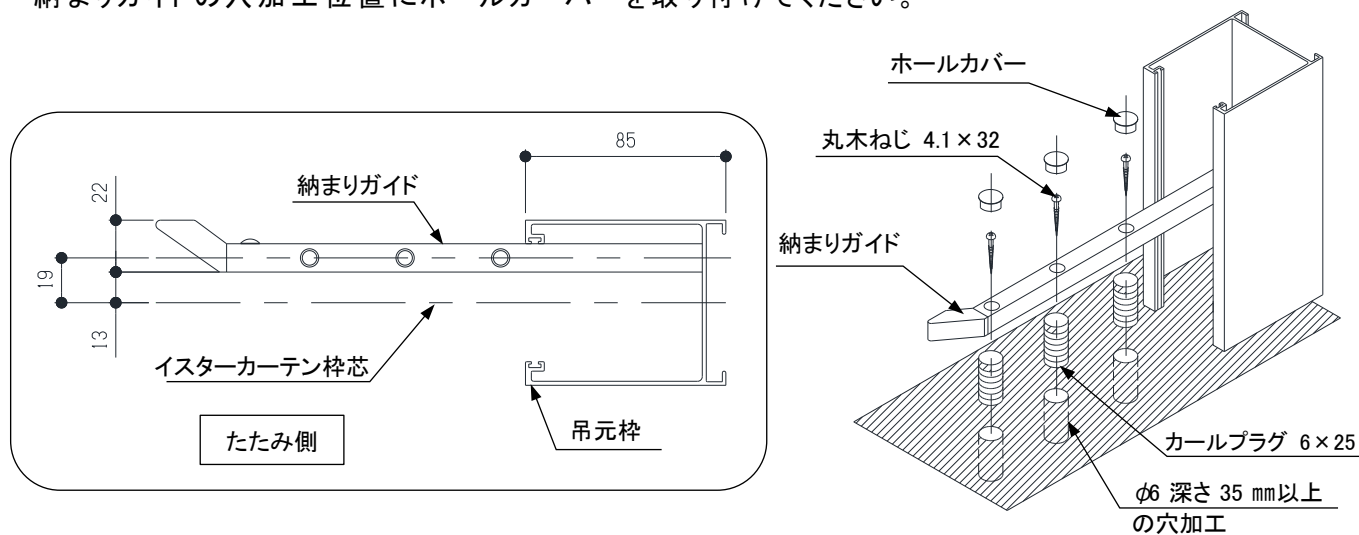
注意 扉を傷つけないように注意してください。



■納まりガイドの取り付け(NR型の場合)

取り付け位置は、基準墨(イスターカーテン枠芯)より正確に位置出しをおこなってください。
納まりガイドは本体下部をガイドする機能を持ちますから、ガタツキなどがないように確実に
取り付けてください。

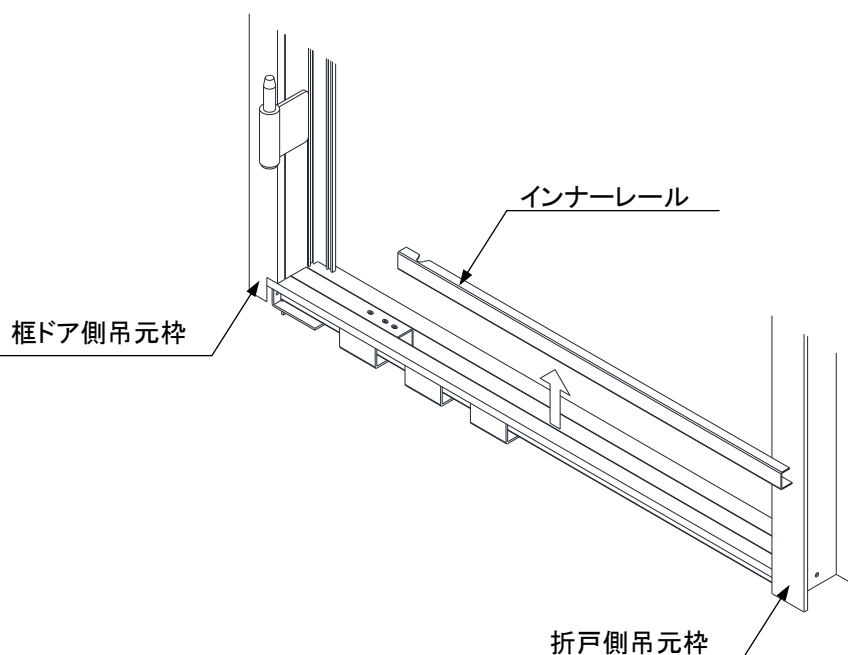
- ・納まりガイドを下図記載の寸法にて取り付け穴加工位置を出し、φ6のキリにて土間深さ
35mm以上の穴を開けてください。
- ・穴にカールプラグを差し込んでください。
- ・納まりガイドを取り付け位置に設置してください。
- ・(+)丸木ねじ φ4.1×32にて納まりガイドを固定してください。
- ・納まりガイドの穴加工位置にホールカーバーを取り付けてください。



■インナーレールの取り外し(35型・35D型の場合)

- ・下レールのインナーレールを取り外します。

注意 → 取り外したインナーレールは、再び使用するので紛失しないように注意してください。

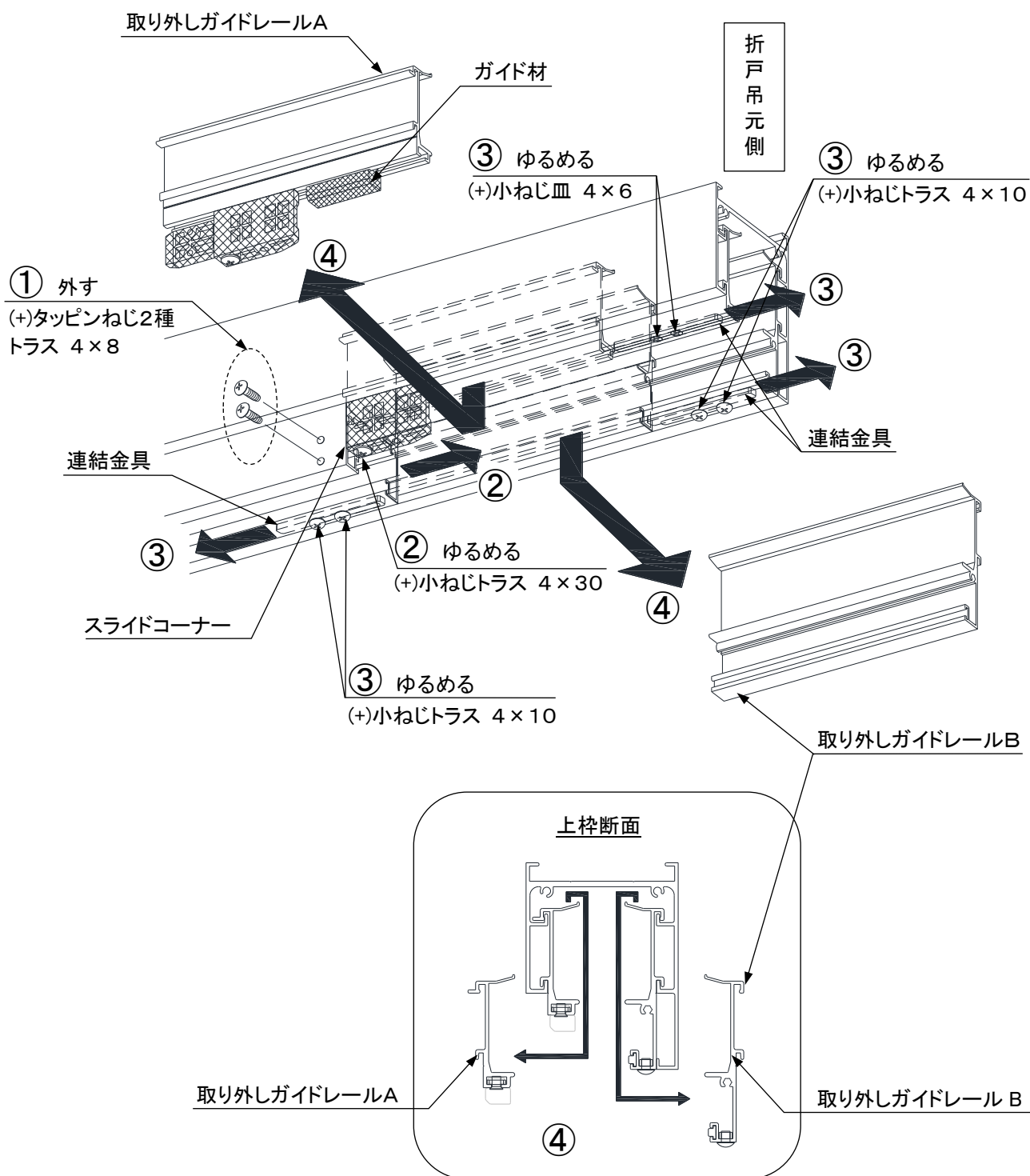


■上枠ガイドレール取り外し(直線:35型・35D 型の場合)

- ① スライドコーナーを取り付けている、正面の (+)タッピンねじ2種トラス 4×8 2本 を取り外します。

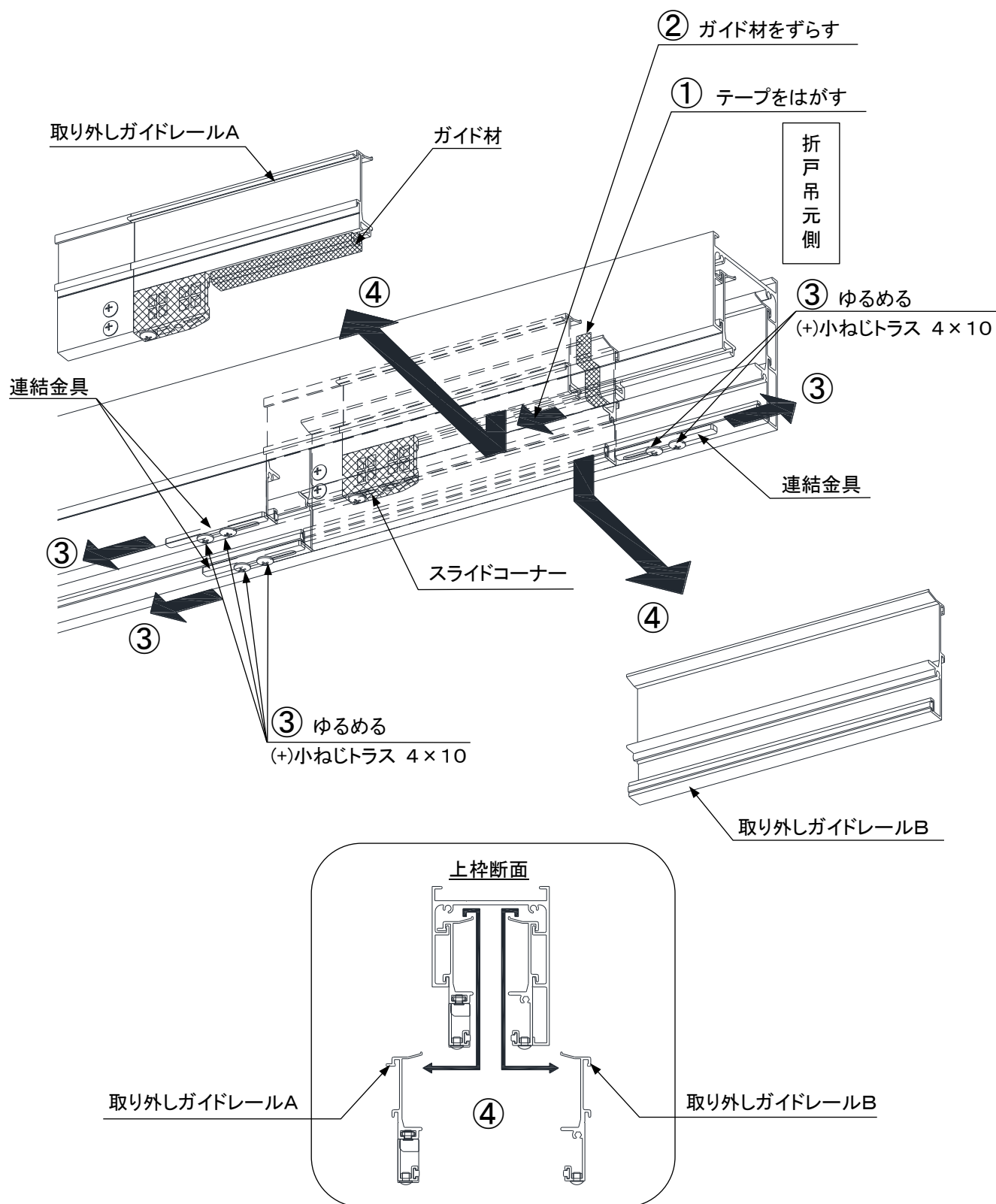
注意 (取り外したねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。)

- ② スライドコーナーを取り付けている、下方向からの (+)小ねじトラス M4×30 1本をゆるめて、ガイド材の方向に30mmほどスライドさせます。
- ③ 連結金具の (+)小ねじトラス M4×10 2本と (+)小ねじ皿 M4×6 2本をゆるめて、連結金具をそれぞれ、上枠に収納するようにスライドさせます。(3ヶ所)
- ④ 取り外しガイドレールAとBを取り外します。



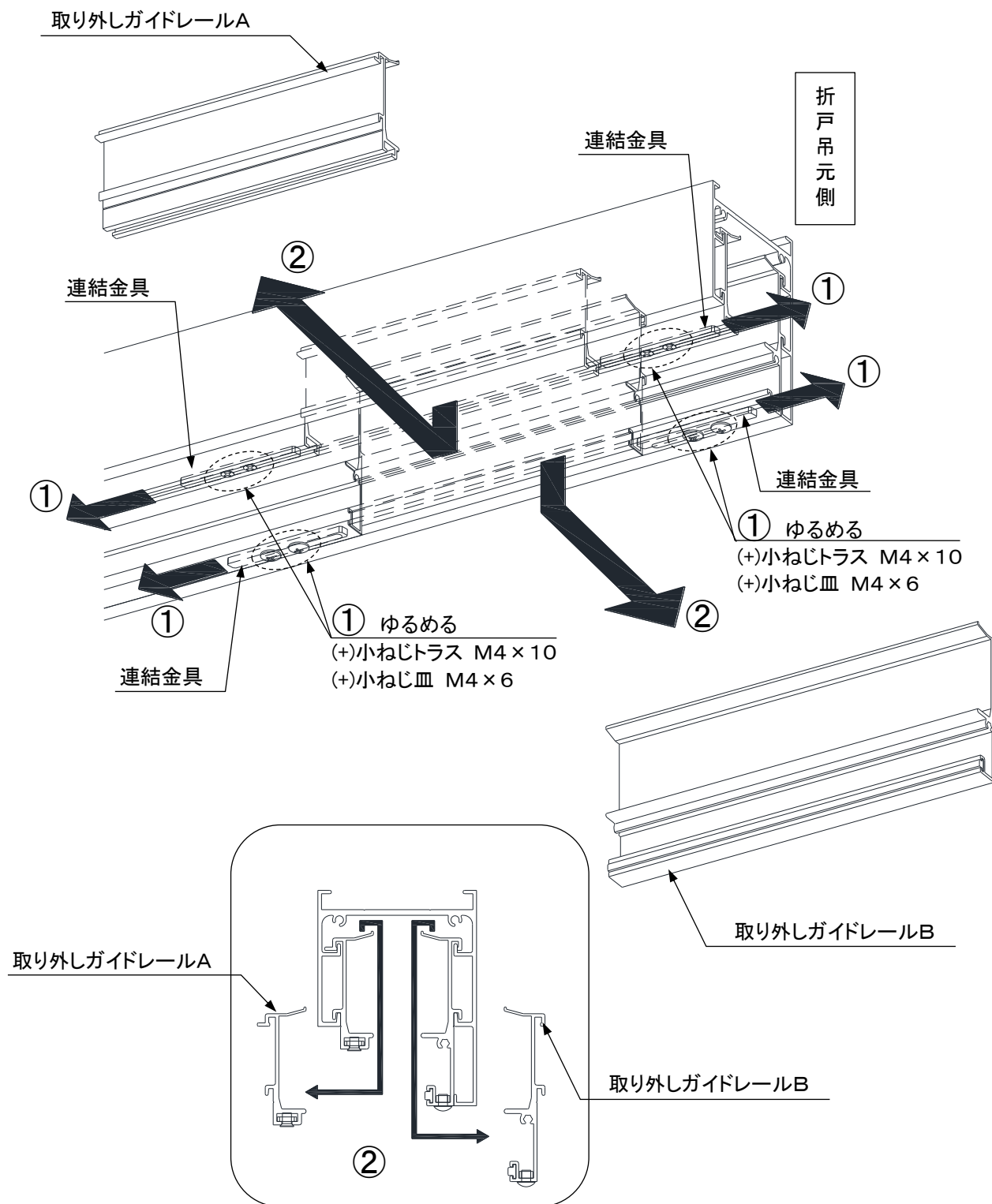
■上枠ガイドレール取り外し(直線:NR 型の場合)

- ① ガイド材を固定しているテープをはがします。
- ② ガイド材を、ガイド材が取り外しガイドレール A に全て納まるまでスライドコーナーの方向にスライドさせます。
- ③ 連結金具の (+)小ねじトラス M4×10 6本をゆるめて、連結金具をそれぞれ、上枠に収納するようにスライドさせます。(3ヶ所)
- ④ 取り外しガイドレールAとBを取り外します。



■上枠ガイドレール取り外し(直線:折戸W≤975 の場合)

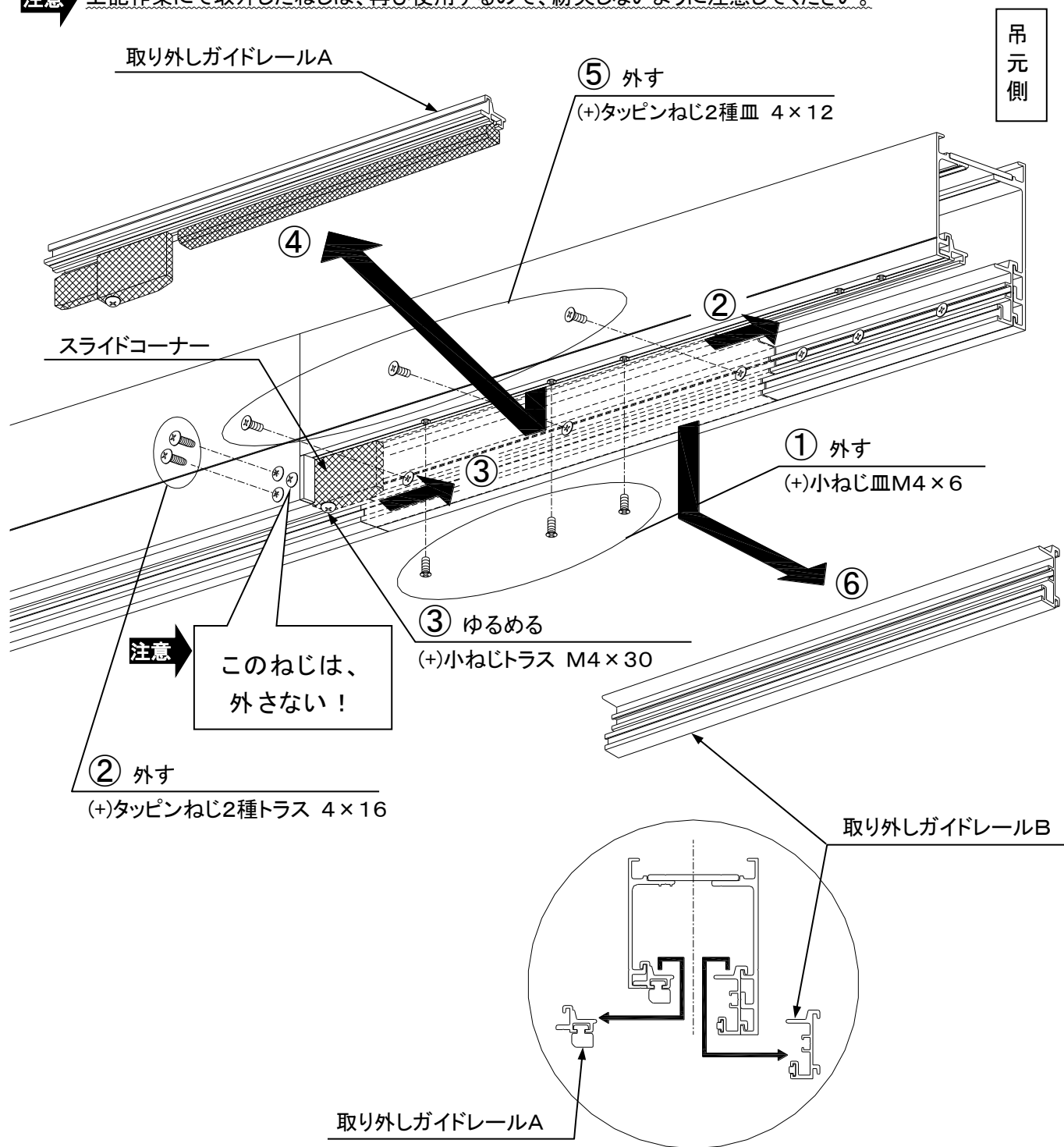
- ① 連結金具の (+)小ねじトラス M4×10 2本と (+)小ねじ皿 M4×6 2本をゆるめて、連結金具をそれぞれ、上枠に収納するようにスライドさせます。(各2ヶ所)
- ② 取り外しガイドレールAとBを取り外します。



■上 柵ガイドレール取り外し(曲線の場合)

- ① 取り外しガイドレール部取り付け用の (+)小ねじ皿 M4×6 3本を取外します。
- ② スライドコーナーを取り付けている、正面の (+)タッピンねじ2種トラス 4×16 2本を取外します。
- 注意** (スライドコーナー側の (+)タッピンねじ2種トラス 4×8 は外さないでください。)
- ③ スライドコーナーを取り付けている、下方向からの (+)小ねじトラス M4×30 1本をゆるめて、ガイド材の方向に30mmほどスライドさせます。
- ④ 取り外しガイドレールAを取り外します。
- ⑤ もう一方の取り外しガイドレールBを取り付けている (+)タッピンねじ2種皿 4×12 3本を取り外します。
- ⑥ 取り外しガイドレールBを取外します。

注意 上記作業にて取外したねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。

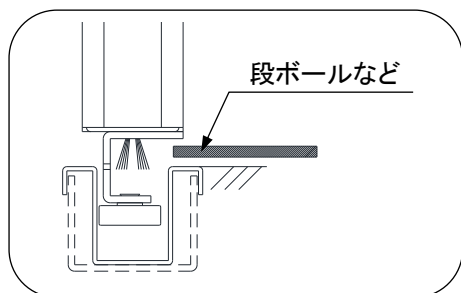


2 折戸の吊り込み

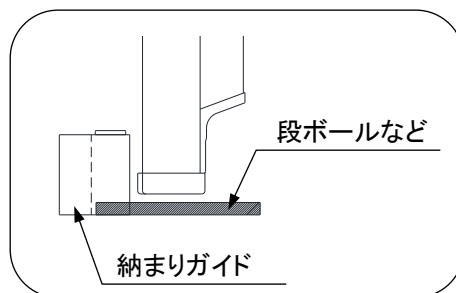
■折戸の吊り込み

①下レール、土間、床などに段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。

＜35型・35D型の場合＞

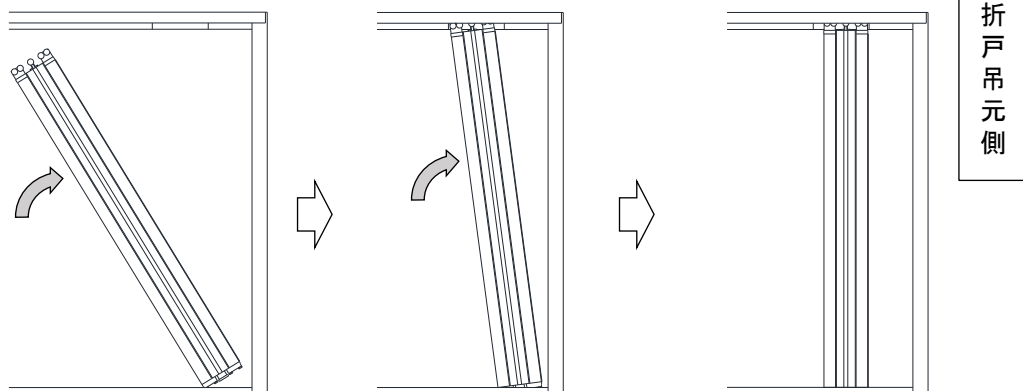


＜NR型の場合＞

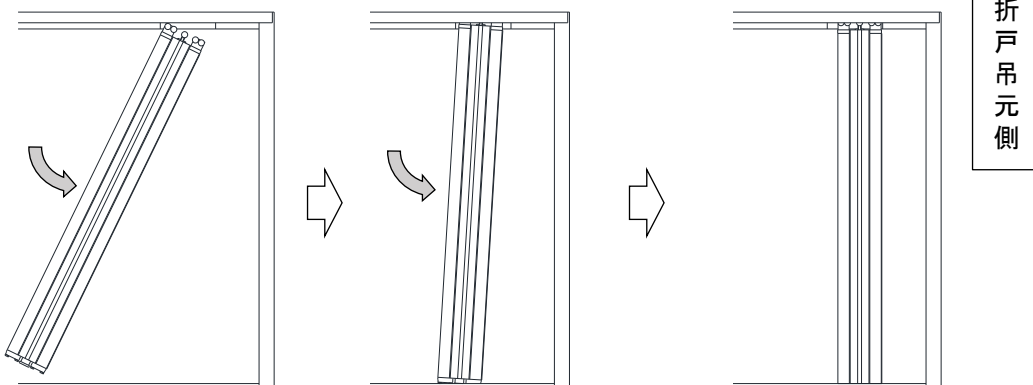


②図の様に上枠の扉取り付け位置に斜めにセットし、

○Aタイプ: 下部ローラーを下部レールの溝にはめ込み、図の様に上部ローラーを枠の中に入り込ませるように扉を起こしてください。



○Bタイプ: 上部ローラーを上枠の中に入り込ませ、下部ローラーを下部レールの溝にはめ込むように扉を起こしてください。



※Bタイプは、H2000以下でAタイプの吊り込みができないときに行ってください。

または、曲線タイプでR2500以下の場合に行ってください。

③折戸を持ち上げて、上部ローラーを上枠レール内に乗せ、吊元側へ送り込んでください。

■上枠ガイドレール取り付け(直線:35型・35D 型の場合)

扉の吊り込みをおこなってから、ガイドレール取り付け作業をおこなってください。

- ① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。

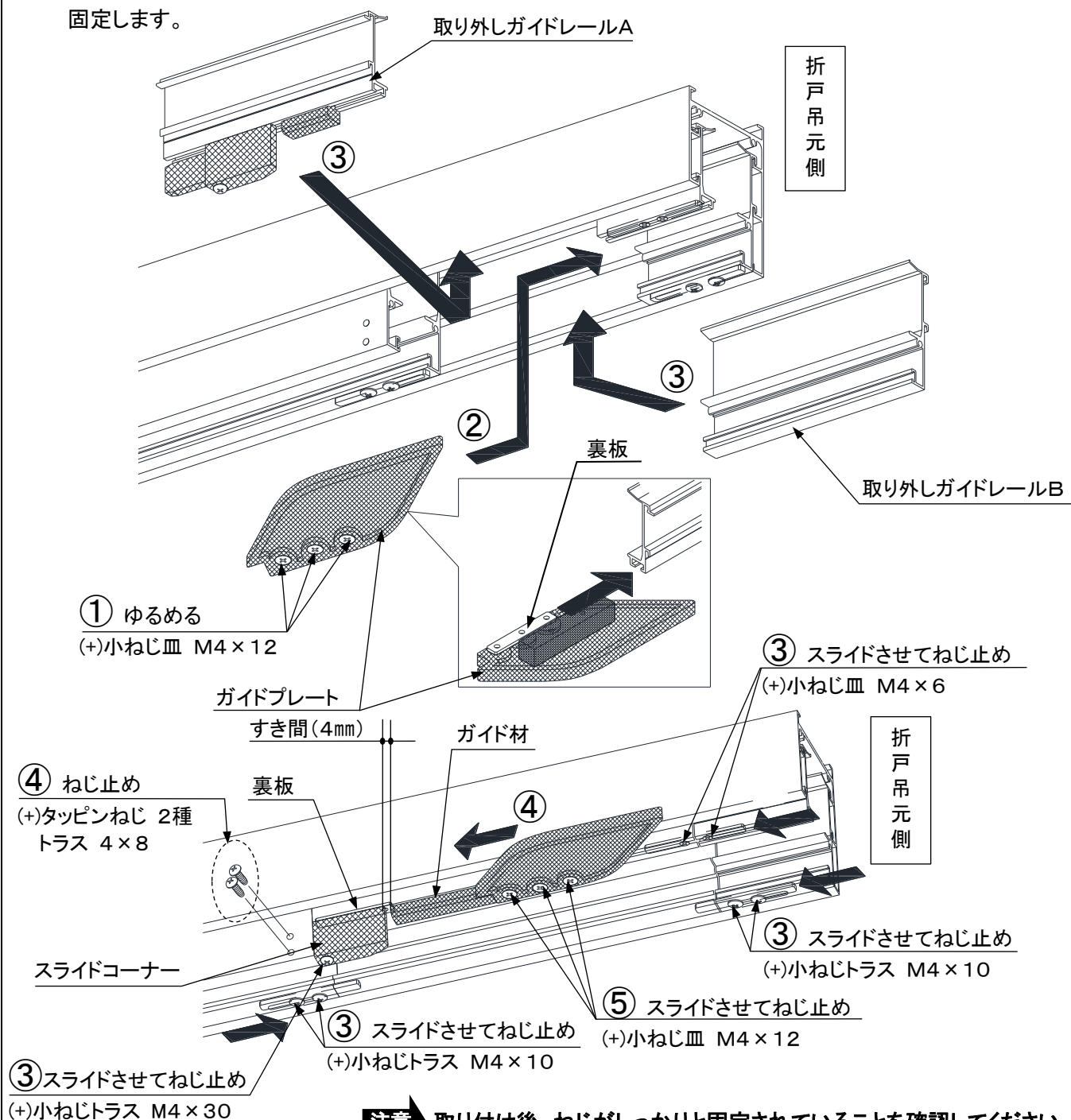
注意 ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。

- ② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を折戸吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、折戸吊元側にスライドさせます。

- ③ 取り外したガイドレール、連結金具を取り外し作業の逆の順番で取り付けます。

- ④ スライドコーナーを (+)タッピンねじ2種トラス 4×8 2本にて取り付けた後、ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

- ⑤ ガイドプレートをガイド材に当るまでスライドさせ、(+小ねじ皿 M4×12 3本をねじ止めし、ガイドプレートを固定します。



注意 取り付け後、ねじがしっかりと固定されていることを確認してください。
締め付け不足になりますと、破損および動作不良が生じます。

■上枠ガイドレール取り付け(直線:NR型の場合)

扉の吊り込みをおこなってから、ガイドレール取り付け作業をおこなってください。

- ① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。

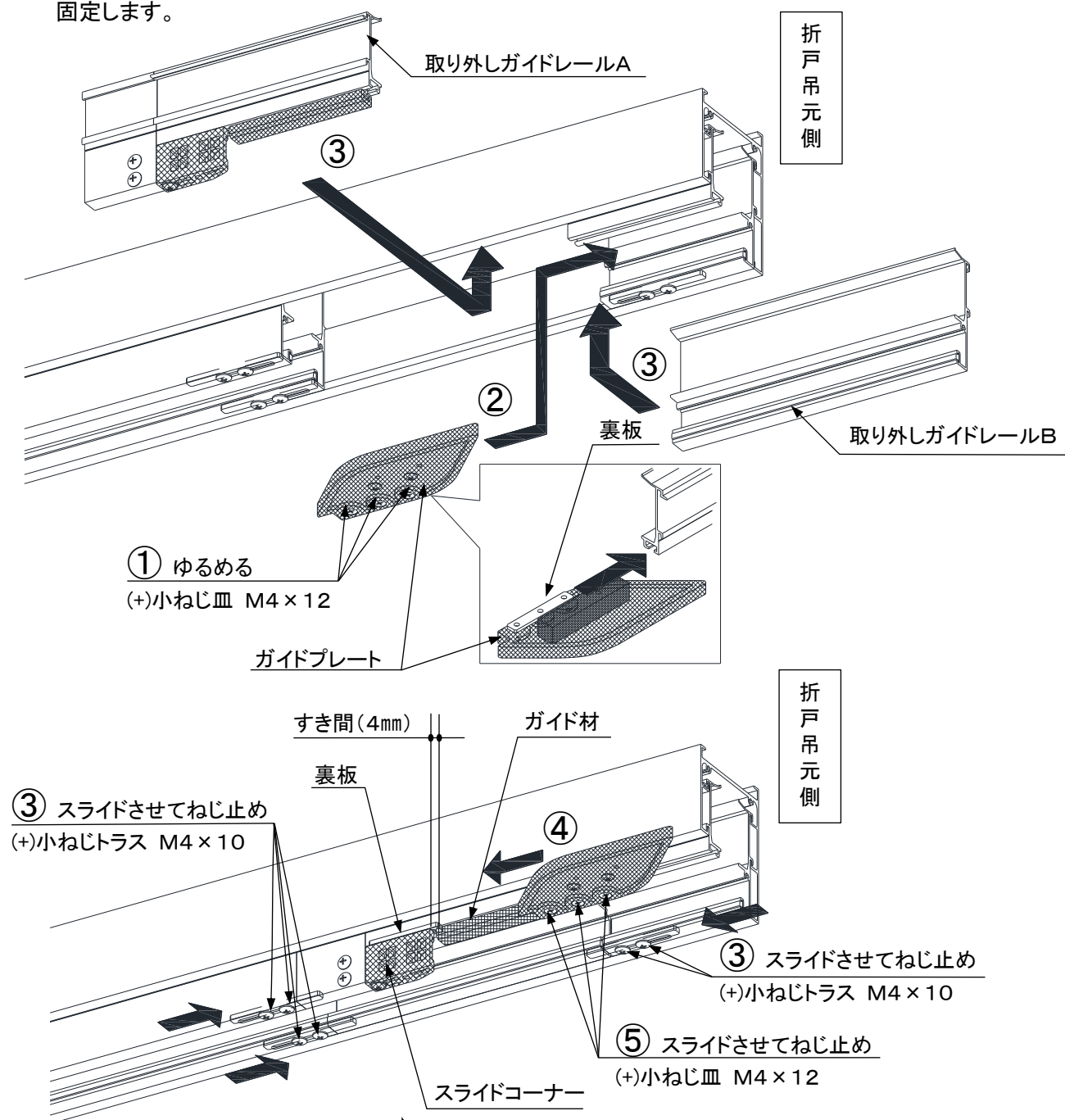
注意 ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。

- ② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を折戸吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、折戸吊元側にスライドさせます。

- ③ 取り外したガイドレール、連結金具を取り外し作業の逆の順番で取り付けます。

- ④ ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。
(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

- ⑤ ガイドプレートをガイド材に当るまでスライドさせ、(+小ねじ皿 M4×12 3本をねじ止めし、ガイドプレートを固定します。

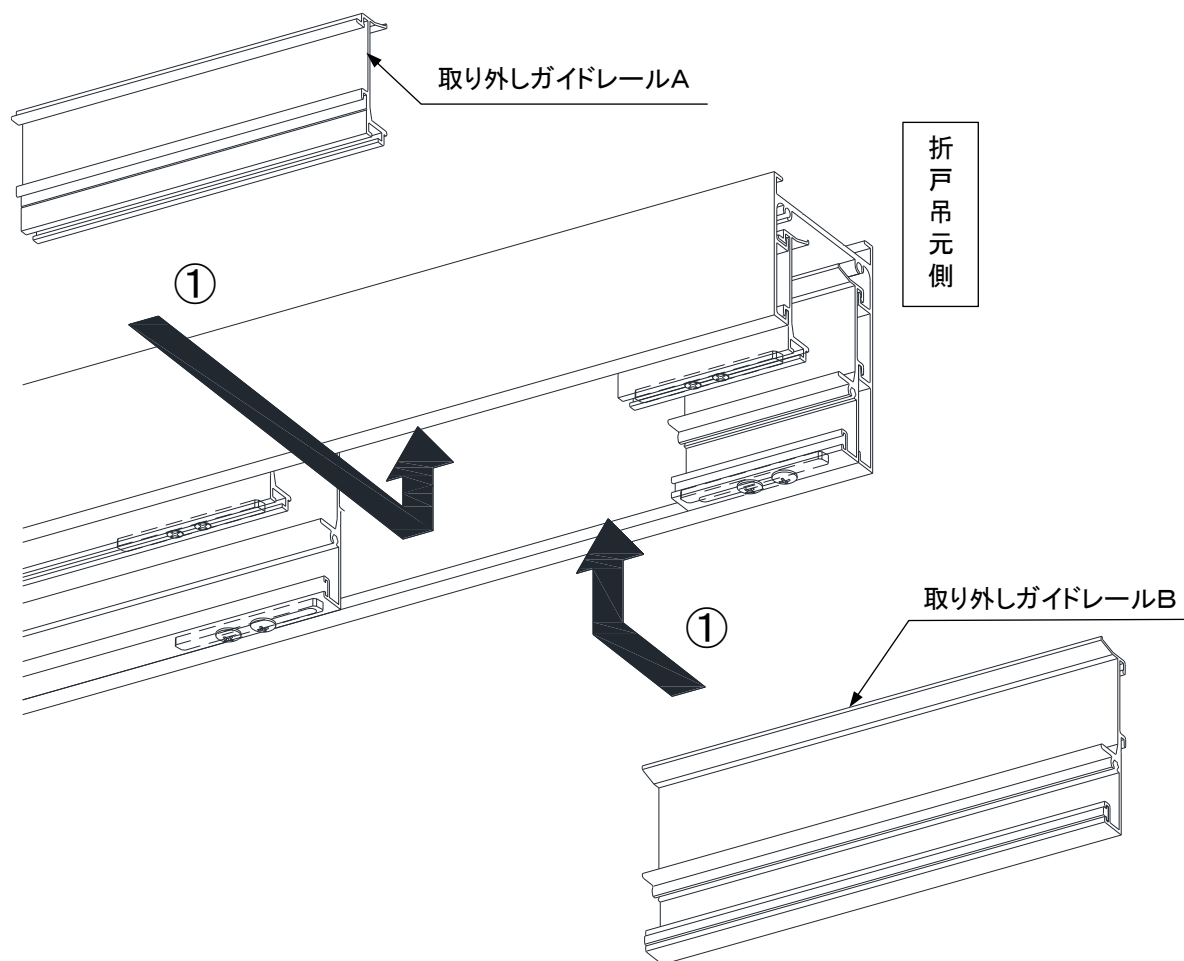


注意 取り付け後、ねじがしっかりと固定されていることを確認してください。締め付け不足になりますと、破損および動作不良が生じます。

■上枠ガイドレール取り付け(直線:折戸W $\leq$ 975 の場合)

扉の吊り込みをおこなってから、ガイドレール取り付け作業をおこなってください。

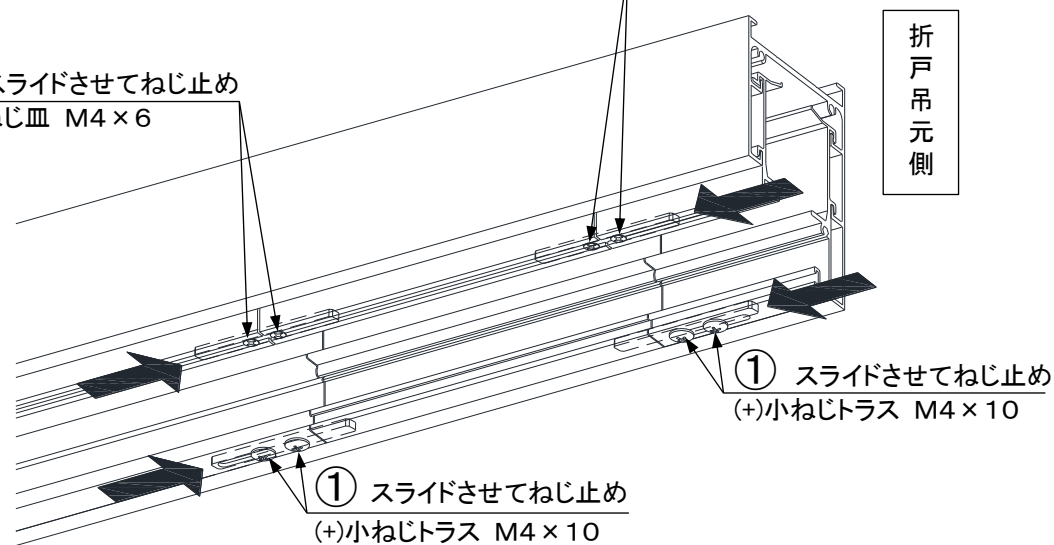
①取り外したガイドレール、連結金具を取り外し作業の逆の順番で取り付けます。



① スライドさせてねじ止め
(+)小ねじ皿 M4×6

① スライドさせてねじ止め
(+)小ねじ皿 M4×6

折戸吊元側



注意 取り付け後、ねじがしっかりと固定されていることを確認してください。
締め付け不足になりますと、破損および動作不良が生じます。

■上枠ガイドレール取り付け(曲線の場合)

取り付け作業は、扉の吊込みをおこなってから、取り付け作業をおこなってください。

- ① ガイドプレートと裏板を取り付けている (+)小ねじ皿 M4×12 3本をゆるめます。

注意 ガイドプレートは、附属部品箱に同梱されています。

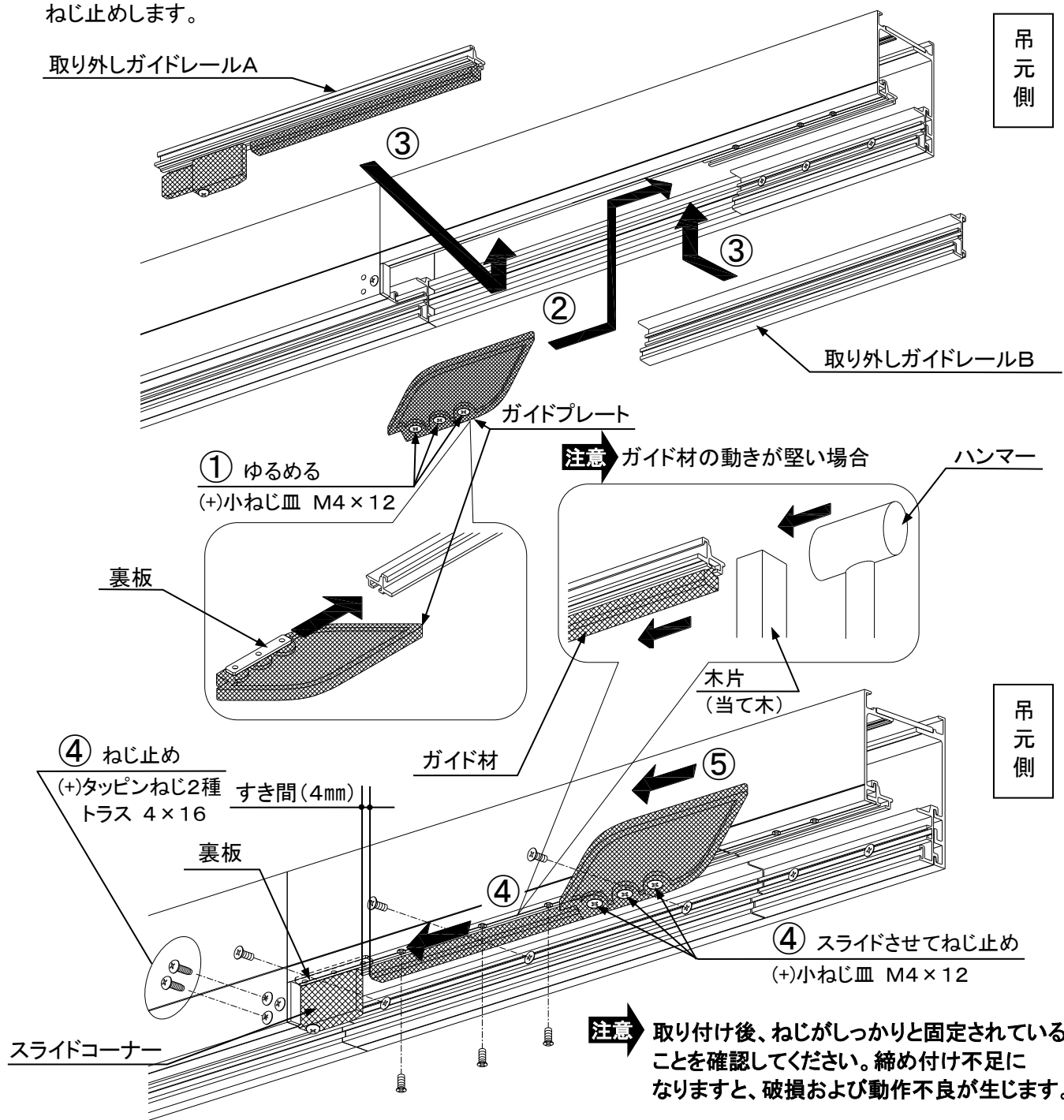
- ② ガイドプレートに取り付けられている裏板部を吊元側のガイドレール部に挿入し、ガイドプレートが全て納まるまで、吊元側にスライドさせます。

- ③ 取り外しガイドレールを取り外し作業の逆の順番で取り付けます。

- ④ スライドコーナーを (+)タッピンねじ2種トラス 4×16 2本にて取り付けた後、ガイド材をスライドコーナーに取り付けてある裏板部に当るまでスライドさせます。(この時、ガイド材とスライドコーナーのすき間は4mmできます。)

注意 ガイド材をスライドさせる際に、動きが非常に堅い場合があるので、ガイド材を傷つけないように木片などで当て木をし、ハンマーなどでたたき、スライドさせてください。

- ⑤ ガイドプレートをガイド材に当るまでスライドさせ、ガイドプレート固定の (+)小ねじ皿 M4×12 3本にてねじ止めします。

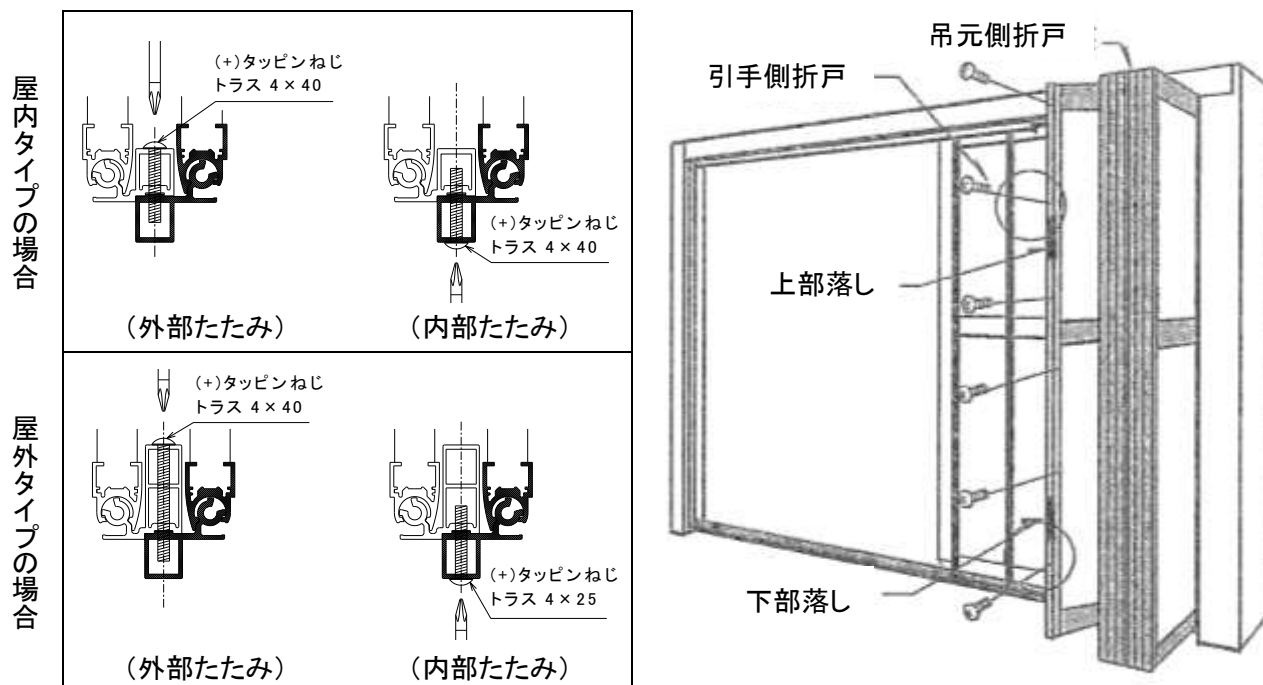


■ 折戸の連結

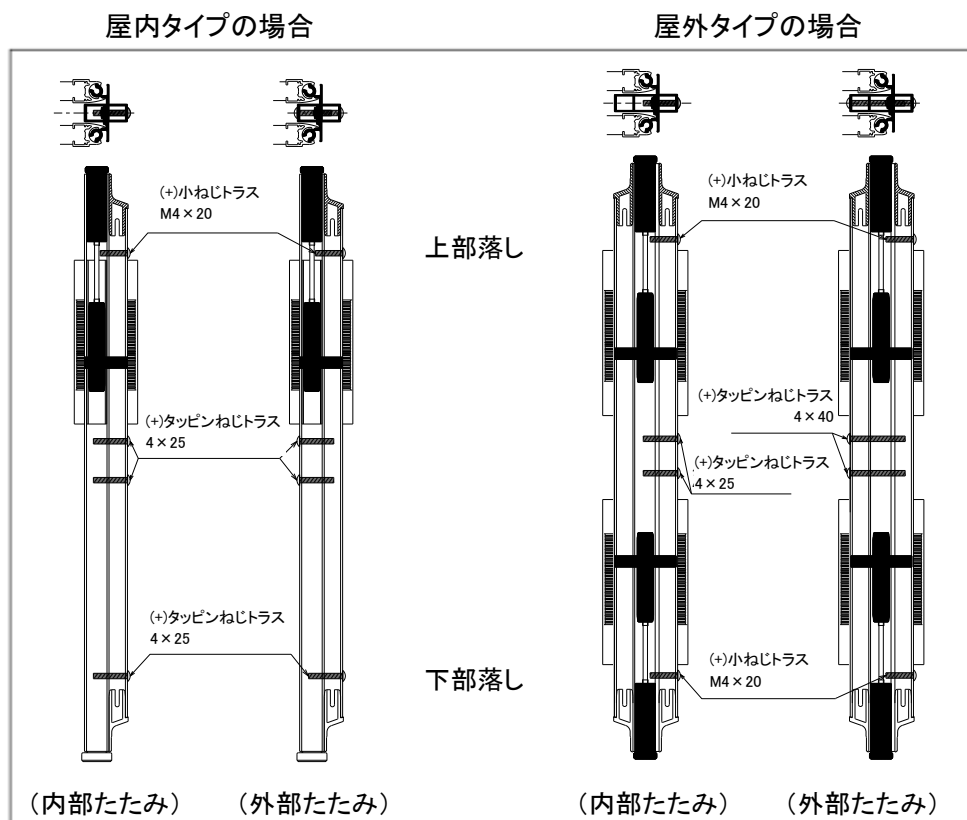
連結は、連結する折戸同士を半開き状態にしておこないます。

・吊元側折戸と引手側折戸のジョイント部を下図のように組み合わせてください。

注意 折戸の連結は、内部たたみ・外部たたみによってねじ止めする向きが異なりますので注意してください。
連結の際は、必ず手動ドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。

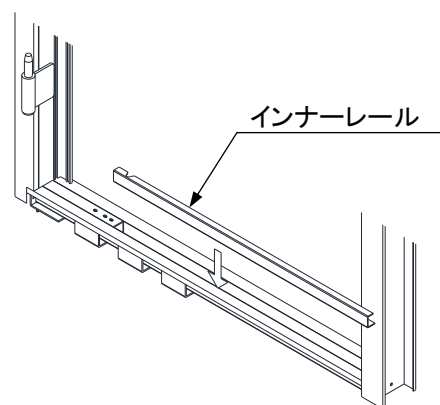


連結部に落しが取り付けられている場合は、ねじ長さが異なりますので注意してください。



■ インナーレールの取り付け(35型・35D 型の場合)

- ・ **1** で取り外したインナーレールを元の位置に取り付けます。



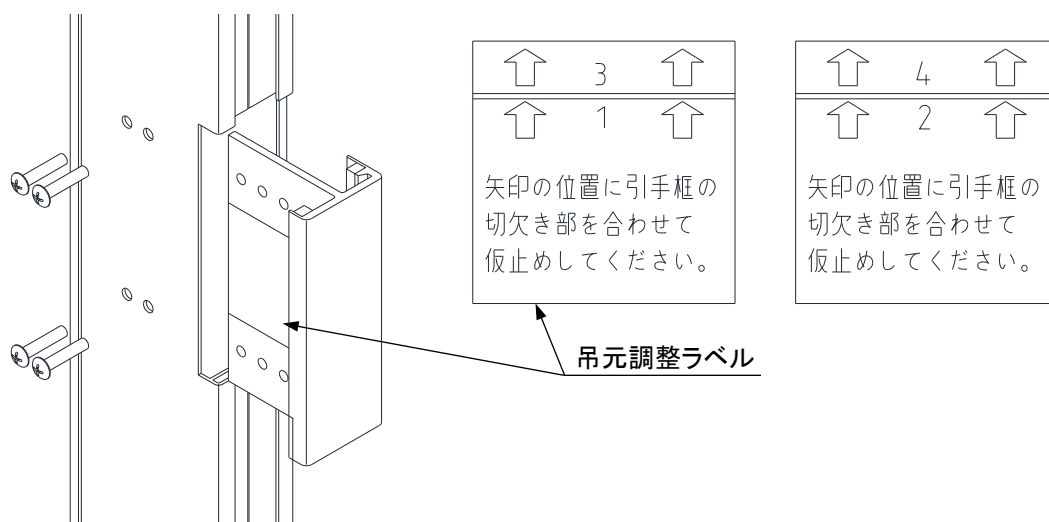
3 吊元ストッパーの調整

■ 吊元ストッパーの調整ラベル

折戸の吊り込み、折戸の連結作業の後に全閉状態にしてください。

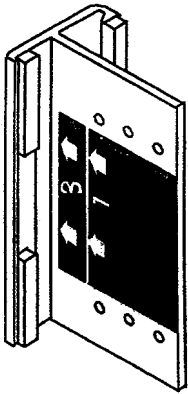
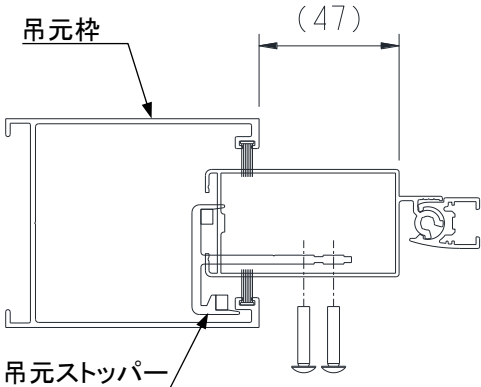
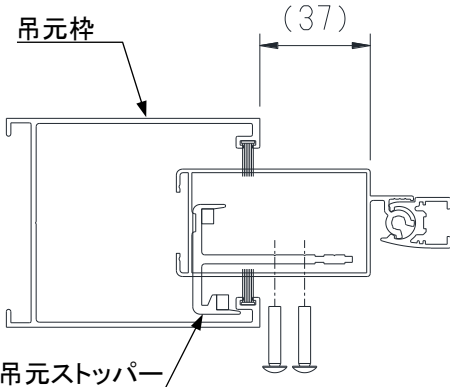
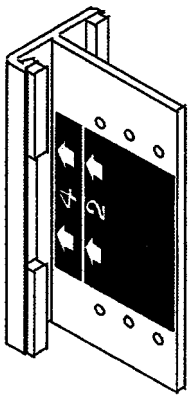
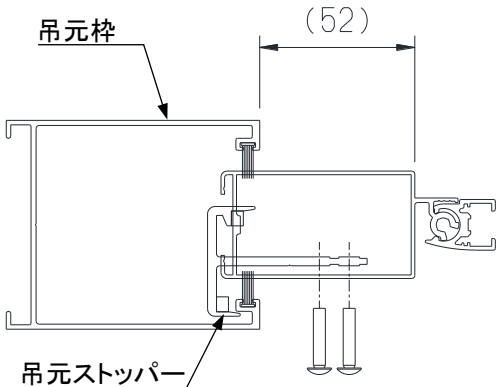
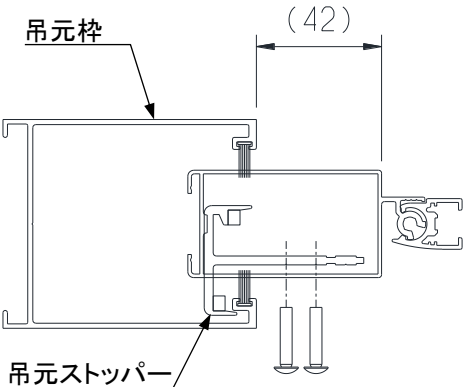
吊元ストッパー調整ラベルは、吊元ストッパーの表裏に貼り付けてあり、番号は異なります。

吊元框の切り欠き位置に吊元ストッパー調整番号を合わせて取り付けることで、吊元框の固定位置寸法の調整ができます。



■吊元ストッパーの位置

吊元ストッパーの取り付け面に注意してください。

吊元調整ラベルが1, 3の場合 	[ラベル番号1の設定] 	[ラベル番号3の設定] 
吊元調整ラベルが2, 4の場合 	[ラベル番号2の設定] 	[ラベル番号4の設定] 

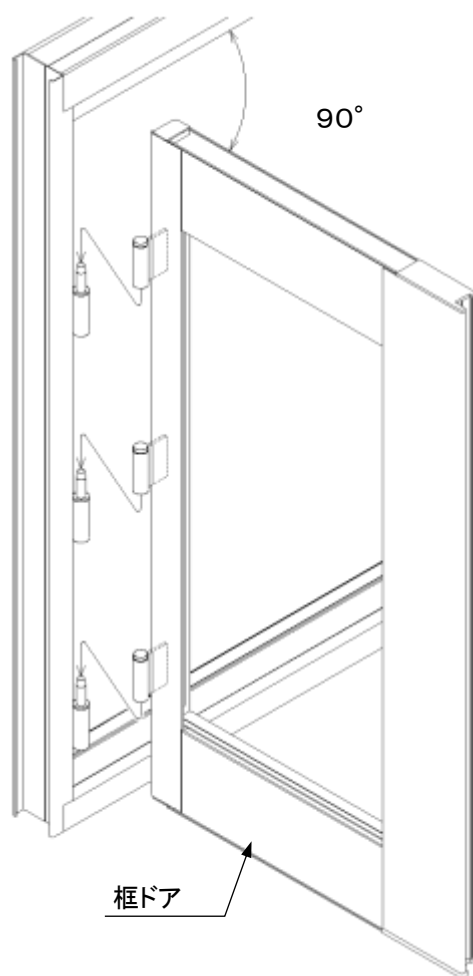
4 框ドアの吊り込み

■ 框ドアの吊り込み

框ドアは、たたみ側から吊込みます。

- ・ 丁番に被せられている袋を取り外してください。
- ・ 框ドアを枠に対し、90° 開いた状態にしてください。
- ・ 框ドアを持ち上げ、框ドアの丁番を枠の丁番に差し込んでください。(丁番数:3)
この際、框ドアを枠などにぶつけないよう気を付けてください。

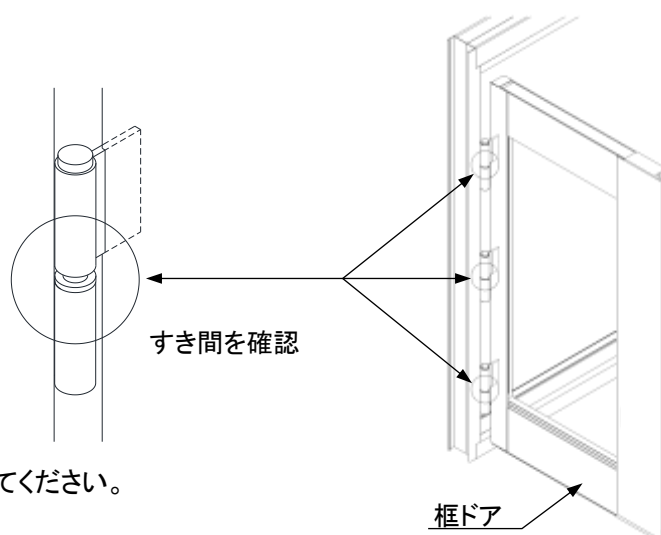
注意 框ドアの吊込み後は、必ず、丁番部のすき間を確かめてください。(P21参照)
すき間があると、框ドアの開閉に支障をきたすおそれがあります。



■ 丁番位置の確認

- ・ 丁番部のすき間を確認をしてください。

框ドアを枠に対し、90° 開いた状態にし、
丁番に右図のようなすき間がある場合は、
框ドア側の丁番にて調整をおこなってください。



＜上部、中央部丁番にすき間がある場合＞

框ドア側上部、中央部丁番を下げる方向に調整してください。

＜下部丁番にすき間がある場合＞

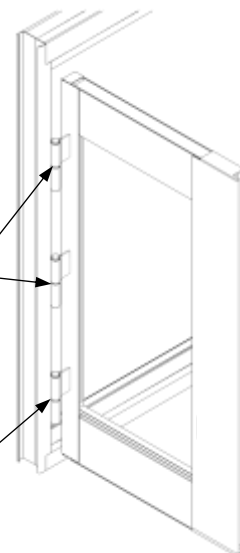
框ドア側上部、中央部丁番を上げる方向に調整してください。

注意 丁番調整は、必ず、框ドア側丁番の上部および中央部のみを
調整してください。

下部丁番および、枠側丁番は、動かさないでください。

框ドア側丁番の上部と中央部にて
調整を行う

下部丁番と枠側丁番は動かさない



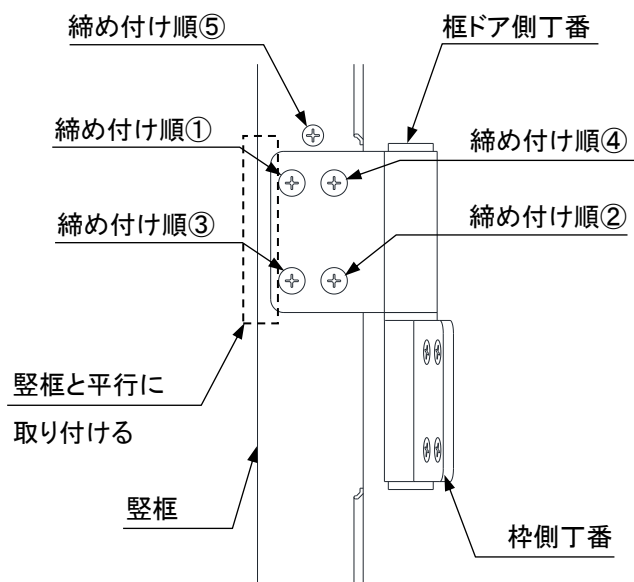
■ 丁番位置の調整方法

- ・ 右図に示すねじ5本をすべて緩めてください。

注意 ねじは、ゆるめる程度とし、取り外さないでください。
ねじをすべて取り外してしまうと丁番裏板が落下し、
丁番が取り付けられなくなります。

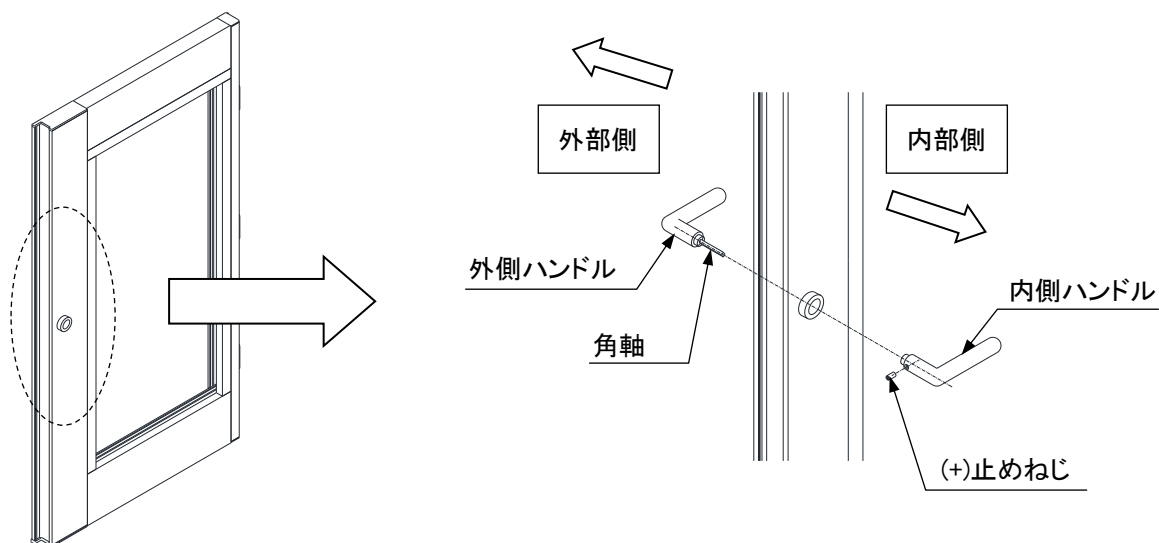
- ・ すき間がなくなるように框ドア側丁番を調整してください。

- ・ 調整後、ねじを締め付ける際は、丁番が傾かないよう
縦枠に対し、平行に取り付けてください。
また、ねじを締め付ける順番は右図を参考におこなって
ください。



■レバーハンドルの取り付け

- ・外部側より、外側ハンドルを框ドアに取り付けます。
- ・外側ハンドルの角軸に内側ハンドルをはめ込み、(+)止めねじにて取り付けます。



■ドアクローザーの取り付け

同梱されているドアクローザーの取付説明書に従って取り付けます。

※取り付け用の加工は枠、框ドア共にされていますので、勝手の間違いが無いように取り付けてください。

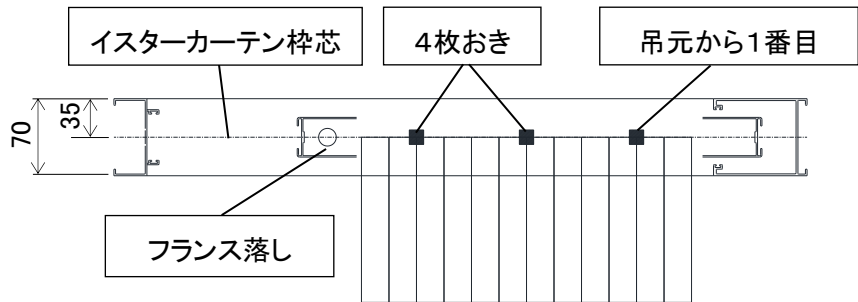
※ドアクローザーの取扱説明書も同梱されています。

取り付け終了後、必ずお施主様にお渡しください。

注意 → ドアクローザーの調整はガラス施工終了後におこなってください。
ガラス施工前には調整できません。

5 落としツボの取り付け（NR型の場合）

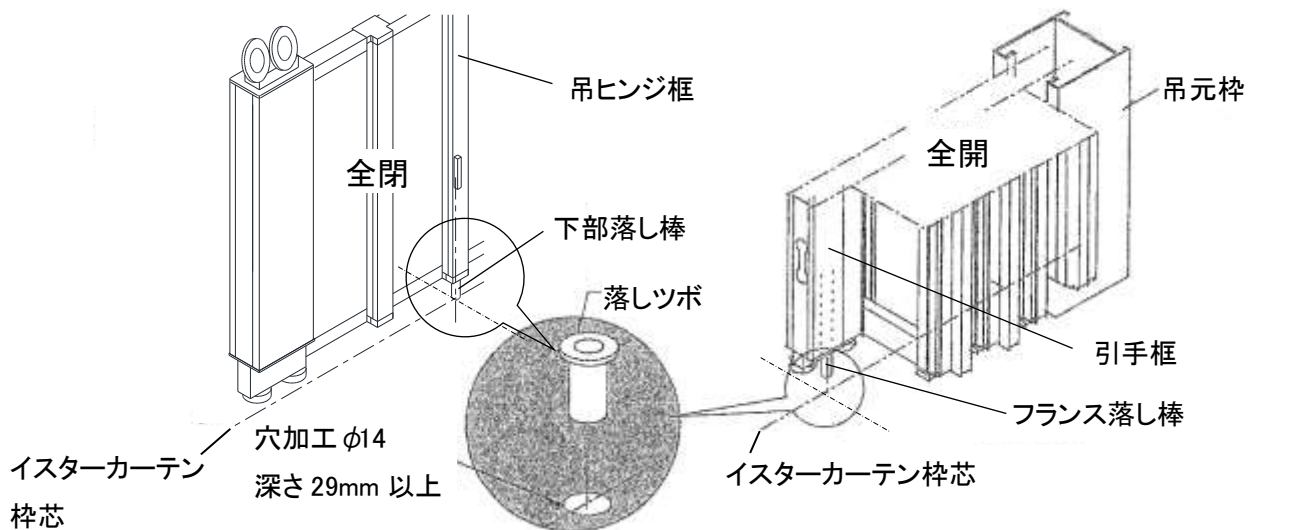
下部落し棒の位置



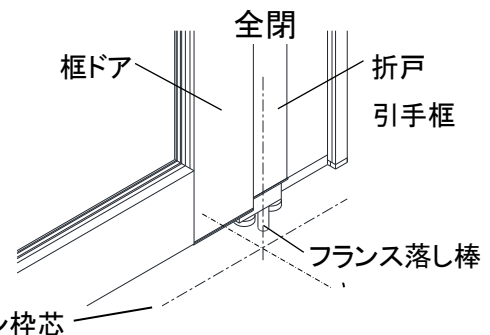
落としツボの埋め込み

・折戸、框ドアを全閉し、イスターカーテン枠芯上にある吊ヒンジ框の下部落し棒が落ちる位置を確認してください。その位置にφ14×29以上の穴加工をして、落としツボを埋め込んでください。

・折戸を全開し、イスターカーテン枠芯上にある引手框のフランス落し棒が落ちる位置を確認してください。落としツボ位置にφ14×29以上の穴加工をして、落としツボを埋め込んでください。

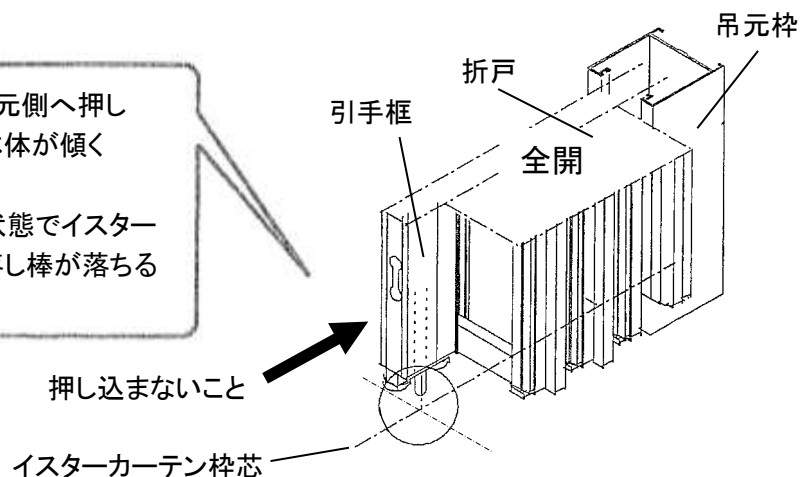


・框ドアと折戸召し合わせ部の落としツボ
 框ドアと折戸を全閉した後に、框ドアを全開して、イスターカーテン枠芯上にある折戸引手框のフランス落し棒が落ちる位置を確認してください。その位置で、框ドアがスムーズに開閉することを確認し、φ14×29以上の穴加工をして、落としツボを埋め込んでください。



傾きに注意

穴加工位置をだす際、折戸を吊元側へ押し込むと、落しをセットした際に、本体が傾くおそれがあります。
 折戸を全開した後、手を離れた状態でイスターカーテン枠芯上にあるフランス落し棒が落ちる位置を確認してください。



6 折戸ストッパーの調整(35型・35D 型の場合)

■折戸ストッパーの確認

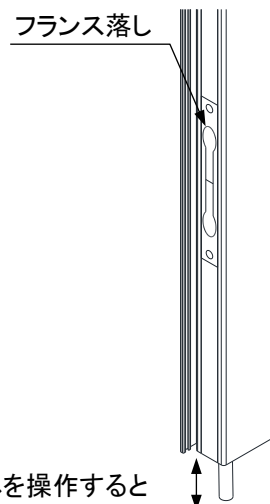
・折戸を全閉し、折戸フランス落し棒を落とした状態で、框ドアがスムーズに開閉できるか確認してください。

＜框ドアと折戸の間にすき間ができ、框ドアのラッチがしっかりかからない場合＞

下レールに取り付けてある折戸ストッパーを框ドア側へ調整してください。

＜框ドアと折戸の距離が近く、折戸に当たって框ドアが閉まりきらない場合＞

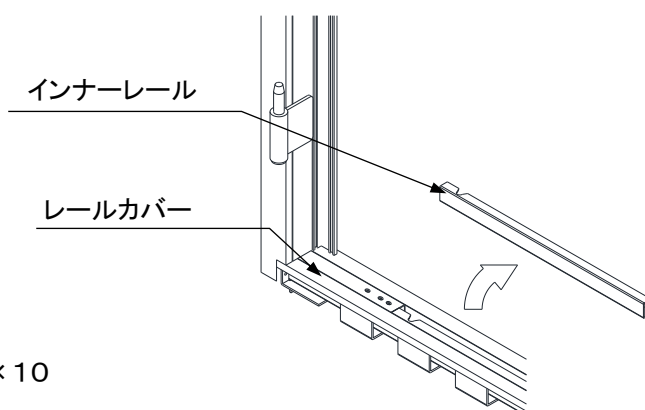
下レールに取り付けてある折戸ストッパーを折戸側へ調整してください。



フランス落しを操作すると
落し棒が上下します

■折戸ストッパーの調整方法

・図のように框ドア吊元側のレールカバー隣にある
インナーレールを取り外します。

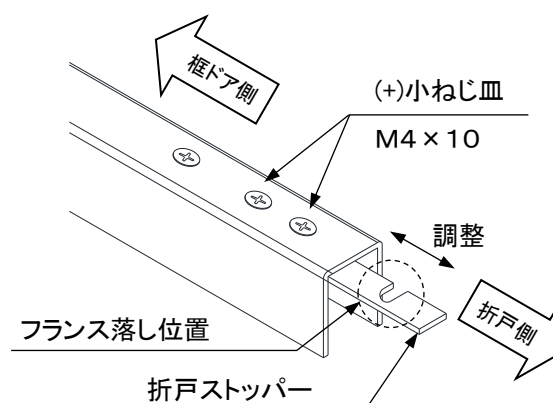


・レールカバー先端の方についている(+)小ねじ皿 M4×10
2本をゆるめます。
折戸ストッパーが動くようになるので、フランス落し位置を
調整し、ゆるめたねじを締めます。

注意 ねじをゆるめすぎると、折戸ストッパーが
外れてしまいます。

・インナーレールを戻し、折戸を閉めて、折戸フランス落しの
操作ができるか確認します。

・框ドアを閉め、開閉がスムーズにおこなえるかを確認します。

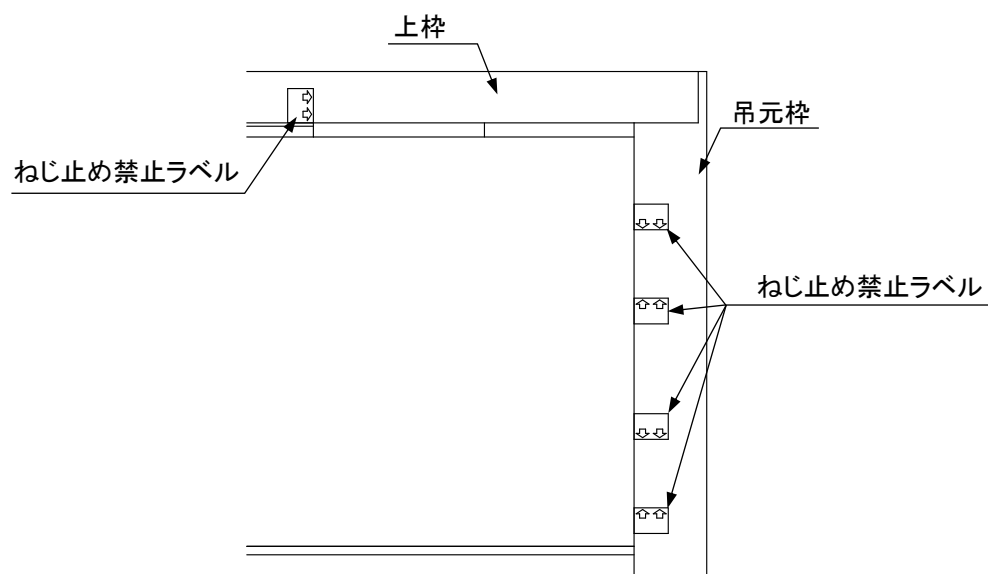


※開閉がスムーズにおこなえない場合、上記の作業をもう一度おこない、
折戸ストッパーを再調整してください。

・調整が終わったら、最後にゆるめたねじがしっかり締まっているか、確認してください。

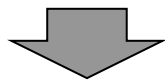
7 ねじ止め禁止ラベルの取り外し

- ・ねじ止め禁止ラベルが貼り付けてある場合は、ラベルをはがしてください。
- ※ねじ止め禁止ラベルは、枠の両面に貼り付けてありますので、ご注意ください。

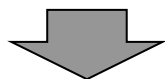


□取り付け後の点検

■取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

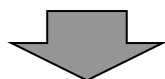


■本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。

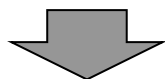


■折戸、框ドアの開閉テストをおこない、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・開閉がスムーズであること
- ・折戸、框ドアが全開、全閉できること
- ・開閉中に異音がしないこと
- ・突き合わせ部にすき間がないこと



■ガラスの施工後にドアクローザーの調整をおこなってください。



■ガラスの施工後に再度、折戸、框ドアの開閉テストをおこない、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・開閉がスムーズであること
- ・折戸、框ドアが全開、全閉できること
- ・開閉中に異音がしないこと
- ・突き合わせ部にすき間がないこと



■お施主様に鍵と取扱説明書をお渡しください。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234

MEMO

MEMO